



Ray Klingensmith

レイ・クリンギンスミス
2010-11年度 国際ロータリー会長



No. 1 1

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

- ロータリーの優しさと思いやりを地域へ
- ①高砂ロータリークラブの歴史と伝統を学ぼう
 - ②職業奉仕と親睦の実践
 - ③友愛奉仕基金の主旨を再確認
 - ④ロータリー活動を広報し、地域に広めよう

例 会 記 録 (2010. 9. 17 (金)) 通算2,819回

高砂R.C・高砂青松R.C合同例会 (於:ウエディングパレス鹿島殿)

◆開 会

◆唱 歌

ロータリーソング (我等の生業)

◆「四つのテスト」唱和

◆来訪ロータリアン

姫路西R.C 前川韶治会員
姫路南R.C 松岡和治会員

◆ゲスト紹介

公益財団法人サントリー文化財団 上席研究フェロー 佐藤友美子様
高砂青松R.C米山奨学生 (台湾出身) 魏 鈺 静様

◆プログラム予定

9月24日 (金)	10月1日 (金)	10月3日 (日)	10月8日 (金)
移動例会 9月24日→10月3日 に変更 京都	卓話 経営・経済について 税理士 岸本 毅様	移動例会 (9月24日例会分) 京都	休 会 (定款第6条第1節(C)による)

◆出席報告

本日 9月17日 会員数49名 出席者 38名 出席率86.36%
前々回 9月 3日 会員数49名 修正出席者46名 出席率100%修正

◆MAKE-UP

後藤 純次会員	高砂青松R.C	9月15日
砂川 次善会員	高砂青松R.C	9月15日
西田 秀雄会員	高砂青松R.C	9月15日
桂田 重信会員	高砂青松R.C	9月15日
中野 哲郎会員	高砂青松R.C	9月15日
守光 隆会員	ローター財団セミナー	9月 5日
井上 慶治会員	e-C L U B	9月 9日
伊藤 輝彦会員	e-C L U B	9月15日

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

高砂青松R.C 伊藤勝之会長……本日は、高砂クラブの皆様には御世話になります。また日頃から、信原様脇谷様には特に御指導頂いております。

高砂青松R.C 嶋谷拓雄会員……本日の合同例会、お世話になりありがとうございます。

守光 隆会員……坂井先生はじめ新世代委員会の皆様お世話になります。

坂井 智代会員……佐藤友美子様、本日のご講演ありがとうございます。

大村 泰司会員……新世代委員会の皆様お世話になります。

早退1名

◆幹事報告 (2,819回)

◎「市内7クラブゴルフコンペ」のご案内が届いております。

期日：11月11日(木) 場所：加古川ゴルフ倶楽部 会員宛FAXにて配信

出欠回答を9月27日(月)までに事務局までご連絡下さい。

◎たかさご万灯祭実行委員会より、協賛のお礼状が届いております。

◎公益財団法人兵庫県青少年本部より、賛助会員加入のお礼状と広報誌が届いております。

※例会変更のお知らせ

◎明石R.C 10月27日(水) → 23日(土)「創立60周年式典」

於：ホテルキャッスルプラザ

11月24日(水) → 20日(土)東播第1グループIM 於：舞子ビラ

◆会長の時間

本日は、恒例の高砂・高砂青松両ロータリークラブの合同例会ということで、新世代奉仕月間にちなみまして、両担当委員会のお世話により公益財団法人サントリー文化財団上席研究フェローの佐藤友美子(ゆみこ)先生をお招きしております。佐藤先生には大変ご多忙の中御越し頂きまして、誠に有難うございます。

新世代委員長の坂井会員からいただいたプリントの



信原智彦会長

経歴に佐藤先生はサントリー不易流行研究所の設立メンバーの一人とありましたが、私は「不易流行」という言葉を初めて知りました。いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しい変化を重ねているものを取り入れていること。「不易」はいつまでもかわらないこと。「流行」は時代時代に応じて変化すること。

意味は違うかも知れませんが、私が大きく様変わりしたかと感じるものは何かと言いますと、それは人間の性質、あるいは人の根の部分だと思います。つまり、本来あるべき他に対しての優しさや、思いやりが薄くなってきていると感じます。いつの時代からか他に対して冷たく、厳しい応対が増えてきたように思います。現在の世の中の環境が、前者の様な生き方では生き残れないのかも知れませんが、いま、若い世代に受け入れられている楽曲の詞を聴くと人に対しての優しさとか思いやりが大変多いような気がします。つまり、本質はそれを求めているのだと思います。

先日、WCS（世界社会奉仕）ワークショップに脇谷幹事と出席してきました。中村パストガバナーの閉会の挨拶に「最近のロータリアンは何もしない、言われてもしない、ロータリーの今後が心配だ。」と苦言を呈されました。私も家内によく言われる言葉です。心より反省いたします。以上の事を報告いたしまして会長の時間とさせていただきます。

◆本日のプログラム

特別講演「成熟社会を共に生きる」

公益財団法人サントリー文化財団 上席研究フェロー

佐藤友美子様

略歴

1951年生まれ、1975年立命館大学文学部を卒業、同年サントリー株式会社に入社。1989年サントリー不易流行研究所の設立メンバー、1998年3月より部長。サントリー不易流行研究所は2005年3月次世代研究所に名称変更。次世代研究所は2008年3月31日次世代育成支援活動の基盤を固めるという目的を達したため解散。2008年4月1日より(財)サントリー文化財団の上席研究フェロー。2010年6月財団法人が公益財団法人に移行、現在に至る。

これまでに内閣府観光立国懇談会、文部科学省第三期中央教育審議会、独立行政法人国際日本文化研究センター客員教授(2002年～2005年)、環境省かおり風景100選選定、環境省エコツーリズム推進委員会、京都府総合開発審議会、兵庫県長期ビジョン審議会、大阪府学校教育審議会、大阪府文化懇話会、兵庫県男女共同参画推進委員会等に関わる。

現在、国土交通省交通政策審議会委員、法務省法制審議会委員、環境省中央環境審議会自然環境部会臨時委員、文化庁世界文化遺産特別委員会委員、大阪市教育委員、神戸大学経営協議会委員、朝日新聞紙面審議会委員、西日本旅客鉄道株式会社社外取締役等。

編 共 著 「成熟し、人はますます若くなる」(NTT出版)

「U35世代 僕と仕事のビミョーな関係」(日本経済新聞社)

「ロストプロセス・ジェネレーション 昭和50年代生まれ、ころのかたち。」

(神戸新聞総合出版センター)



佐藤友美子様

- 「時代の気分 世代の気分 〈私がえり〉の時代に」(NHKブックス)
「変わる盛り場 私がつくり遊ぶ街」(学芸出版社)
共 著 「もてなし文化ルネッサンス」(TBSブリタニカ)
「現代家庭の年中行事」(講談社現代新書)
報 告 書 「これからの家族のために」
企画編集 「いま『食べること』を問う」(農山漁村文化協会)
「大人にならずに成熟する法」(中央公論新社)
「酒の文明学」(中央公論新社)



講師を囲んで



米山奨学生 魏鈺静様



坂井新世代委員長



講演風景



佐藤友美子講師と高砂青松R.C伊藤勝之会長

会 長 信原 智彦 幹 事 脇谷 政孝
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 大久保義郎
例会場 高砂商工会議所 2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/